

# ラベル一新 「浦河の特別栽培米」



安心で安全なおいしい浦河のお米を地元の人に食べてもらいたいと、町内の農家さんの思いから販売が始まった「浦河の特別栽培米」。

これまで以上に、町民皆さんに身近に感じて食べてもらうため、今年10月に発売される新米

から「商品ロゴ」を一新します。

この商品ロゴを考えてくれたのが、浦河高等学校3年生の内山夕璃さん。書道部の部長を務めており、小学3年生から書道を始め、日本習字は5段の腕前です。創作文字で書くのは初めてで、力強くを意識して、書きながらイメージを形にしていき、出来あがるまでに1カ月を要したそうです。

内山さんは「出来あがったラベルは思い描いたイメージ通りになっています。これを書いた後は、お店に行っても商品のロゴやデザインが気になるようになりました」と笑顔で話してくれました。

新しい商品ロゴ「浦河の特別栽培米」は、今年10月初旬からAコープ荻伏店や畑のうた（農協スタンド横）などで、販売されます。

ぜひ、地産地消のため、皆さんのご協力をお願いします。



商品ロゴの作成に携わっていただいた浦河高等学校3年生 内山夕璃さん

## 地域おこし協力隊の活動記

私が浦河町に来て約2カ月が経ちました。これまでたくさんの方々からお話をいただいたり、様々なイベントや取り組みに携わってきました。いろいろやりたいことが見えてきましたが、なかなかすべてに手が回らずの日々、少しずつ進めていきます。



今月担当は武藤隊員

私の友人や知人が浦河町を訪れる機会があり、町内を連れて回ると口をそろえて言うのは「楽しい」「素敵」「また来たい」。中には「住みたい」と嬉しいことを言ってくれる人もいます。その魅力の源泉はふれあう「人」であると思っています。そんな中で、私の資金繰りに余裕がない場面もしばしば。そこで今回、資金調達や寄付金募集（ファンドレイジング）に詳しい渡邊文隆さんを講師にお招きし、講演会を開催したいと思います。

「こういうことを始めたいんだけど、お金が・・・」

「地域おこし協力隊」Facebook

<https://www.facebook.com/urakawa.chiikiokoshi>

という方は、きっとヒントを得られると思います。ご興味ある方はぜひご参加ください。

- 日時 平成25年10月13日（日）午後7時～
- 場所 総合文化会館2階 第3研修室
- 講師 渡邊 文隆氏（非営利組織マーケティング専門家）  
京都大学在学中から、様々なNPO法人で寄付募集の経験を積む。就職後は、マーケティングに一貫して携わり、仕事として、またボランティアとして、非営利組織に対して寄付募集の支援を行っています。
- 参加料 1,000円（茶菓子含）、予約制（定員20人）  
※講演会では講師との交流会も予定
- 申込み・お問い合わせ先  
地域連携会議 リバイタライズ浦河事務局  
電話 0146-22-5577